

学際領域展開ハブ形成プログラム 「多階層ストレス疾患の克服」研究発表会

日時：2026年2月2日(月) 12:30～17:30

場所：東京科学大学 D棟4F歯学部特別講堂(湯島)

主催：総合研究院 難治疾患研究所

参加登録は
右のQRコード、または
下記URLからお願いいたします。



<https://forms.office.com/r/88j26K3z4K>

開会の挨拶 佐々木 雄彦^{*1}

12:35～ 13:55 session 1：ストレス応答と疾患

- 諸石 寿朗^{*1} フェロトーシス：鉄過剰ストレスがもたらす細胞死
川路 英哉^{*2} 巨細胞性動脈炎の細胞アーキテクチャの解明
橋本 亮太^{*3} 脳MRI画像のデータ駆動型解析に基づく新しい精神疾患バイオタイプの発見
伊藤 美菜子^{*4} 末梢免疫細胞による脳の疾患制御メカニズム

14:05～ 15:05 session 2：脳とストレス防御

- 小山 隆太^{*3} マイクログリアによる赤血球貪食が脳を守る
藤生 克仁^{*1} 臓器間連携を介した自然免疫記憶
齊藤 実^{*2} 恐怖学習のショウジョウバエ神経回路メカニズム

15:15～16:15 session 3：恒常性の維持と修復

- 吉種 光^{*2} 体内時計の分子メカニズム
村松 里衣子^{*3} 脳神経回路の修復機構の探索
高山 和雄^{*1} 腸管における外乱・内乱による摂動を解析するための生体模倣システムの開発

16:25～ 17:25 session4：若手研究者セッション

- 陶山 京香^{*3} 小脳発生期におけるバグマングリア様前駆細胞の分化多様性と分子特性の探索
田部 直央^{*3} 空間トランスクリプトーム解析を用いた難治てんかんの病態解析
荻原 禅^{*1} 掃除屋DJ-1は"解糖系から生じる毒性分子"を消去してパーキンソン病を防止する
中島 一徹^{*2} 4倍体iPS細胞の分化誘導による多倍体細胞種の成熟度亢進
金山 剛士^{*1} 異なる分化経路が生み出す樹状細胞の多様性
宮田 佑吾^{*1} 膜変形に応答する脂質移送分子が細胞膜リン脂質の分布を制御する

閉会の挨拶 豊島 文子^{*1}

^{*1}難治疾患研究所

^{*3}国立精神神経医療研究センター

^{*2}東京都医学総合研究所

^{*4}九州大学



Institute of

SCIENCE TOKYO

総合研究院